

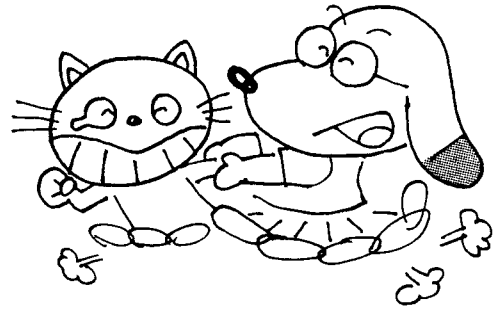
第4編

主として

[数の規則性]を もとに 解く

1. 植木算
2. 方陣算
3. 周期性
4. 数の列
5. N 進法

第4編



主として、
[数の規則性] をもとに解く

第1章 植木算

第1節 幅のないものを周りに植える	181
第2節 直線上の両端に幅0のものを植える	183
第3節 直線上の両端に植えないばあい	185
第4節 長さのあるものを離して並べる	187
第5節 長さのあるものを重ねて並べる	189
付節 2から8までとはどのような意味か	191

第2章 方陣算1 正方陣

第1節 辺の数・周囲の数・全体の数	195
第2節 縦・横1列ずつ増やしたとき	203
第3節 回りに1列ずつ増やしたとき	205
第2章 方陣算2 長方阵	
第1節 縦・横・周囲の数・全体の数	207
第2節 横が縦より3個多い長方阵	209
第3節 横が縦の2倍の長方阵	211
第4節 縦・横に1列ずつ増やしたとき	213
第5節 長方阵の回りに1列とりかこむ	215

第3章 周期性

第1節 同じものがくりかえし現われるとき	217
第2節 周期性を組み合わせた問題	221
第3節 [曜日] と [日にち]	223
第4節 百年カレンダー	229

第4章 数の列

第1節 等差数列	235
第2節 等差数列の和	243
第3節 その他の数列	249

第5章 N進法

第1節 二進法と十進法	251
第2節 三進法と十進法	255
第3節 五進法と十進法	257
第4節 十進法の図示	259
第5節 十進数をN進数で表わす	261

4-1 ①

第1章 植木算

第1節 幅の無いものを周りに植える

例1-1

[周り]が[12 m]ある池のまわりに
[3 mおき]に木を植えたい。
木は[何本]必要ですか。

例1-2

[周り]が[12 m]ある池のまわりに
[4本]の木を
[等しい間]をおいて植えたい。
木は[何mおき]に植えるとよろしいか。

例1-3

下図のような長方形の形をした
土地の周りに
[5 mおき]に木を植えたい。
[何本]必要か。

例1-4

ある池の周りに
[3 mおき]に木を植えたら
[4本]でちょうどでした。
池の[周りは何m]あるのでしょうか。

例1-5

[縦20 m]、[横50 m]の
[長方形]のプールがあります。
このプールの周囲に
[2 mおき]に印をつけていくと
[印はいくつ]になるでしょう。

第2節 直線上の両端にも植える

例2-1

[3 mおき]に
木を[5本]植えました。
[両端]の[木と木の間]は
[何m]になりますか。

例2-2

端から端まで[12 m]あるところに
木を端から[3 mおき]に植えたい。
木は、[何本]必要ですか。

例2-3

端から端まで[12 m]あるところに
[木を等しい間]をおいて
[5本]植えたい。
木は、[何mおき]に植えればよろしいか。

例2-4

長さ[12 m]の道の両側に
[3 mおき]に、木を植えるには
[何本]の木がいりますか。
両端にも植えることにします。

4-1 ②

第3節 ^{りょうはし}両端に植えないばあい

例3-1

電柱2本が
[12 m] 離れて立っています。
この電柱と電柱の間に
[3 mおき] に木を植えたい。
木は[何本] 必要ですか。

例3-2

電柱が[2本] が
[12 m] ^{はな}離れて立っています。
この電柱と電柱の間に
木を[等しい間] をおいて
[3本] 植えたい。
木は
[何 m おき] に植えるとよろしいか。

例3-3

電柱[2本] が ^{はな}離れて立っています。
この電柱と電柱の間に
[等しい間] をおいて
木が[3 m おき] に
[3本] 植わっています。
電柱と電柱は
[何 m] 離れて立っていますか。

例3-4

[5 m] の長さの木を
[50 cm] ずつに切りました。
1カ所切るのに[7分] かかりました。
全部切り終わるのには
[何分] かかりましたか。

第4節 長さのあるものを離して並べる

[植木算とは]

- ① [木の数] または [間の数]
- ② [^{りょうはし}両端の間の長さ]
- ③ [1つの間の長さ] = [間隔]
の3つのうち
[2つ] がわかっていて
[残りの1つ] を求めるのが
[植木算] と呼ばれる問題です。

例4-1

[長さ 260 cm] ある板に
[長さ 40 cm] の紙を
[5枚] はりたい。

[紙と紙の間] も
[紙と板の端との間] ^{はし}も
[等しい長さ] にするとき
[紙と紙の間の長さ] は [何 cm?] か。

類題4-1

[長さ 320 cm] ある板に
[長さ 40 cm] の紙を
[7枚] はりたい。

[紙と紙の間] も
[紙と板のはしとの間] も
[等しい長さ] にするとき
[紙と紙の間の長さ] は [何 cm] か。

例4-2

[長さ x cm] ある板に
[長さ 40 cm] の紙を
[5枚] はりました。
[間の長さ] を [5 cm] にしたところ
ちょうど全て等しい間隔にはれました。
[板の幅] は [何 cm] ですか。

4-1②

第5節 長さのあるものを重ねてつなぐ

例5-1

[長さ 40 cm] の紙を、のりではって
[7枚] つなごうと思います。
[のりしろ] を [5 cm] にすると
[全体の長さ] は [何 cm] になりますか。

類題 間の数-1

[長さ 26 cm] の紙を、のりではって
[11枚] つなごうと思います。
[のりしろ] を [5 cm] にすると
[つないだ全体の長さ] は
[何 cm] ですか。

例5-2

[幅 40 cm] の紙をノリで貼って
[7枚] つなごうと思います。
[全体の長さ] を
[250 cm] にするためには
[のりしろの長さ] を
全て等しくしたとき
重ねて貼る [のりしろ1つの長さ] は
何 cm にするとよろしいか。

例5-3

[幅 $x\text{ cm}$] の紙をノリで貼って
[7枚] つなごうと思います。
[のりしろの長さ] を [5 cm] にして
[全体の長さ] を
[250 cm] にするためには
[1枚の紙の幅] は
[何 cm] にするとよろしいか。

【付節】 2から8までとはどのような意味か

[2] から [8] まで、いくらあるか。

次の

【★】 [1] [2] [3] [4] [5] の問題の
答えを求める式を書きなさい。

【★】 [スタートして、 2 m の地点から
 8 m の地点までの距離]

【1】 [2 日から 8 日まで、何日ありますか]

【2】 [2 番目の人から 8 番目の人まで
何人いますか]

【3】 [2 番目の人と、 8 番目の人との間には、
何人の人がいますか]

【4】 [1 月 2 日から数えて
 1 月 8 日は、何日目になりますか]

【5】 [1 月 8 日は、
 2 日から、何日目の日ですか]

4-2 ①

第2章 方陣算1 - 正方陣

第1節 1辺の数・周囲の数・全体の数

例1-1

[1辺の数]が[6]の[方陣]があります。
 [全体の数]はいくつでしょう。
 [周囲の数]はいくつでしょう。

例1-2

[周囲の数]が[20]の[方陣]があります。
 [1辺の数]はいくつでしょう。
 [全体の数]はいくつでしょう。

例1-3

[全体の数]が[36]の[方陣]があります。
 [1辺の数]はいくつでしょう。
 [周囲の数]はいくつでしょう。

類題1-1

[1辺の数]が[8]の[方陣]があります。
 [全体の数]はいくつでしょう。
 [周囲の数]はいくつでしょう。

類題2-1

[周囲の数]が[32]の[方陣]があります。
 [1辺の数]はいくつでしょう。
 [全体の数]はいくつでしょう。

類題3-1

[全体の数]が[100]の[方陣]があります。
 [1辺の数]はいくつでしょう。
 [周囲の数]はいくつでしょう。

類題1-2

[1辺の数]が[9]の[方陣]があります。
 [全体の数]はいくつでしょう。
 [周囲の数]はいくつでしょう。

類題2-2

[周囲の数]が[36]の[方陣]があります。
 [1辺の数]はいくつでしょう。
 [全体の数]はいくつでしょう。

類題3-2

[全体の数]が[49]の[方陣]があります。
 [1辺の数]はいくつでしょう。
 [周囲の数]はいくつでしょう。

[1辺の数]が分かっている
 [周囲の数]を求める問題です。
 [求める式]をつけてこたえなさい。

[正方形の方陣]

1辺の数	[周囲の数]を求める式	周囲の数
3		
4		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

4-2 ②

[周囲の数] が分かっている
 [1辺の数] を求める問題です。
 [求める式] をつけて答えなさい。

[正方形の方陣]

周囲の数	[1辺の数] を求める式	1辺の数
8		
12		
16		
20		
24		
28		
32		
36		
40		
44		
48		
52		
56		
60		

[全体の数] が分かっている

1辺の数を求めなさい。

周囲の数を求めなさい。

[正方形の方陣]

全体の数 1辺の数 周囲の数

1

4

9

16

25

49

81

100

121

144

196

225

4-2 ③

第2節 ^{たて}縦・横1列ずつ増やしたとき

例2-1

下の図において
^{たて}縦・横とも1列ずつ増やすと
 いくつ増えますか。

それは
 [もとの1辺の数]と
 どのような関係にありますか。
 [図]で確かめなさい。

正方形

元の1辺	○ 元の方陣 ● ふえた方陣	新の1辺	増えた個数
			増えた個数を求める式
1			個
2			個
3			個
4			個
5			個

例2-2

ご石を正方形にならべました。
^{たて}縦・横1列ずつ増やすには
 11個多く必要なことが分かりました。
 初めの方陣の
 1辺の個数はいくつでしたか。

例2-3

ご石を方陣にならべたら
 初め6個余りましたが
 そこで、^{たて}縦も横も1列増やしたら
 11個不足しました。

① 1列ずつ増やすことによって
 何個多く必要か。
 ② 初めの1辺の数は何個か。
 ③ 初めいくつのご石がありましたか。

類題

ご石を方陣にならべたら
 初め5個余りましたが
 そこで、縦も横も1列増やしたら
 12個不足しました。
 初めいくつのご石がありましたか。

第3節 回りに1列ずつ増やした時

例3-1

[○の正方形の方陣]の[回りに1列]
[●]で取り囲みました。

[●の数]すなわち、
[回りの数]はいくつですか。

例3-2

[○の正方形の方陣]の[回りに1列]
[●]で取り囲みました。

[初めの方陣]の[回りの○の数]と
[●の数]すなわち
[後の方陣]の[回りの数]との
[差]はいくつでしょう。

例3-3

ご石を[正方陣]にならべたら
[初め][10個余り]でしたが
[回りに][1列増やした]ら
[26個][不足]しました。

- ① まわりに、1列増やすことによって何個多く必要か。
- ② 後にならべた方陣の1辺の数は何個か。
- ③ 初めにならべた方陣の1辺の数は何個か。
- ④ ご石はいくつあるのですか。

初めの方陣の1辺の個数	初めの方陣の回りの個数	後の方陣の1辺の個数	後の方陣の回りの個数
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			

↑ ↑
この2つの数を比べる。

方陣算 2 - 長方陣

第1節 縦・横・周囲の数・全体の数の関係

例 1

ご石を
[横] が [縦] より [3つ] 多い
[長方陣] に並べました。
[縦] のご石の数が [4つ] です。
① 横のご石の数はいくつですか。
② 全体の数はいくつですか。
③ 周囲の数はいくつですか。

第2節 横が縦より3個多い長方陣

例 2-1

ご石を
横が縦より3つ多い
長方陣に並べました。
全体の数は28です。
① 縦と横のご石の数はいくつですか。
② 周囲の数はいくつですか。

例 2-2

ご石を
横が縦より3つ多い
長方陣に並べました。
周囲の数は18です。
① 縦と横のご石の数はいくつですか。
② 全体の数はいくつですか。

第3節 横が縦の2倍の長方陣

例 3-1

ご石を
横の数を縦の数の2倍の
長方陣に並べました。
縦のご石の数が4つです。
① 横の数はいくつですか。
② 全体の数はいくつですか。
③ 周囲の数はいくつですか。

例 3-2

ご石を
横の数を 縦の数の 2倍の
長方陣に並べました。
全体の数は32です。
① 縦と横のご石の数はいくつですか。
② 周囲の数はいくつですか。

例 3-3

ご石を
横の数を
縦の数の2倍の長方陣に並べました。
周囲の数は20です。
① 縦・横のご石の数はいくつですか。
② 全体の数はいくつですか。

覚えて言いなさい。

[長方陣の周囲の数]

$$= (\text{たての数} - 1) \times 2 + (\text{横の数} - 1) \times 2$$

カンタンに短く言うと、

$$(\text{縦} + \text{横}) \times 2 - 4 = [\text{周囲の数}]$$

第4節 縦・横に1列ずつ増やした長方阵

縦・横とも1列ずつ増やすと
いくつ増えますか。

それは

[もと]の[縦の数][横の数]と
どのような関係にありますか。

例4-1

ご石を
[横]が[縦]より[3個多い]
長方阵にならべた。
次に、縦も横も1列増やしたら
12個多く必要でした。

- ① もとの長方阵の
[縦+横]の個数は何個か。
- ② もとの長方阵の
[周囲の個数]は何個か。
- ③ もとの長方阵の
[縦]と[横]の[個数]は何個か。
- ④ もとの長方阵の
[全部の個数]は何個か。

例4-2

ご石を長方阵にならべたら
初め3個余りましたが
そこで、縦も横も1列増やしたら
9個不足しました。

- ① もとの長方阵の
[縦+横]の個数は何個か。
- ② もとの長方阵の
[回りの個数]は何個か。

第5節 長方阵の回りに1列とりかこむ

[○の長方阵]の回りに1列
[●]で取り囲みました。
[●の数]はいくつですか。

例5

ご石を
横が縦より3つ長い長方阵にならべたら
初め10個余りましたが
回りに1列増やしたら16個不足しました。

- ① まわりに、1列増やすことによって
何個多く必要になりましたか。
- ② 後にならべた方阵の
1辺の数は何個か。
- ③ 初めにならべた方阵の
1辺の数は何個か。
- ④ ご石はいくつあるのですか。

類題

ご石を
横が縦より4つ長い長方阵にならべたら
初め10個余りましたが
回りに1列増やしたら14個不足しました。

- ① まわりに、1列増やすことによって
何個多く必要になりましたか。
- ② 後にならべた方阵の
1辺の数は何個か。
- ③ 初めにならべた方阵の
1辺の数は何個か。
- ④ ご石はいくつあるのですか。

$$(\text{縦} + \text{横}) \times 2 - 4 = [\text{周囲の個数}]$$

$$(\text{縦} + \text{横}) \times 2 = [\text{周囲の個数}] + 4$$

$$(\text{縦} + \text{横}) = (\text{周囲の個数} + 4) \div 2$$

第3章 周期性

第1節 同じものが繰り返し現われるとき

例1-1

次のように、□と■がならんでいます。

□□■ ■■■ □□ ■■■ □□ ■■■ ……

① [8番目] は
[□] ですか [■] ですか。

② [21番目] は
[□] ですか [■] ですか。

③ [125番目] は
[□] ですか [■] ですか。

例1-2

次のように、□と■がならんでいます。

□□■ ■■■ □□ ■■■ □□ ■■■ ……

① [20番目] までに
[■] はいくつありますか。

② [27番目] までに
[□] はいくつありますか。

③ [51番目] までに
[□] はいくつありますか。

例1-3

次のように

[1, 2, 3 の数字] がならんでいます。

1 2 3 2 1 1 2 3 2 1 1 2 3 2 1 ……

① [20番目] までに
[1] はいくつありますか。

② [27番目] までに
[2] はいくつありますか。

③ [51番目] までに
[1] はいくつありますか。

④ 38番目までの数を加えると
いくらになりますか。

例1-4

[1] を [7] で [わる] と
[同じ数が繰り返し現われます]
[$1 \div 7 = 0.142857 142857 \dots$]

- ① 小数第20位の数は何ですか。
- ② 小数第70位の数は何ですか。
- ③ 小数第99位の数は何ですか。

類題

[2] を [7] で [わる] と
[同じ数が繰り返し現われます]
[$2 \div 7 = 0.285714 285714 \dots$]

- ① 小数第20位の数は何ですか。
- ② 小数第40位の数は何ですか。
- ③ 小数第99位の数は何ですか。

4-3 ②

第2節 周期性を組み合わせた問題

例2-1

[1~9の整数]を書いたカードがあります。
 [3でわって]
 [1余る数]を[Aの箱]
 [2余る数]を[Bの箱]
 [0余る数]を[Cの箱]に入れました。
 この箱の中から、カードを2枚取り出して
 次のような計算をしました。

この時の[和]や[積]を
 [3でわった余り]を答えとして
 箱に入れると、どの箱に入りますか。

[和]

① $A + A = [\quad]$

② $A + B = [\quad]$

③ $A + C = [\quad]$

④ $B + A = [\quad]$

⑤ $B + B = [\quad]$

⑥ $B + C = [\quad]$

⑦ $C + A = [\quad]$

⑧ $C + B = [\quad]$

⑨ $C + C = [\quad]$

[積]

① $A \times A = [\quad]$

② $A \times B = [\quad]$

③ $A \times C = [\quad]$

④ $B \times A = [\quad]$

⑤ $B \times B = [\quad]$

⑥ $B \times C = [\quad]$

⑦ $C \times A = [\quad]$

⑧ $C \times B = [\quad]$

⑨ $C \times C = [\quad]$

第3節 [曜日] と [日にち]

例3-1

[1日]が[月曜日]の月は
 [各日]は
 [何曜日]になりますか。

順に求めたり
 カレンダーで読んだりするのではなく
 かんたんな計算方法を考えなさい。

例3-2

[11日]が[月曜日]の月は
 [それぞれの日]は
 [何曜日]になりますか。

順に求めたり
 カレンダーで読んだりするのではなく
 かんたんな計算方法を考えなさい。

例3-3

[1月1日]が[月曜日]のとき
 [平年]の[各月の最後の日]が
 [何曜日]か調べなさい。

例3-4

[1月1日]が[月曜日]の年の
 [祝日]の[曜日]を求めなさい。

計算で求める方法を考えなさい。
 2月を28日として計算しなさい。

例3-5

1月8日から3月20日までの間に
 ①日曜日は何日ありますか。
 ②水曜日は何日ありますか。
 ただし、1月1日は月曜日です。
 また、平年とします。

4-4 ①

第4章 数の列

第1節 等差数列

等差数列の
[N番目の数] を求める。

例 [あいているワクの中の数を考えなさい]

	例1	例2	例3	例4	例5
①番目	1	2	3	1	2
②番目	2	4	6	3	5
③番目	3	6	9	5	8
④番目					
⑤番目					
⑥番目					
⑦番目					
⑧番目					
⑨番目					
⑩番目					

例 6

[4、7、10、13、……]

例 7

①番目	②番目	③番目	④番目	⑤番目	⑥番目	⑦番目	⑧番目	⑨番目	⑩番目	⑪番目	…	N番目
5	12	19	…	…	…	…	…	…	…	…	…	?

覚えて言いなさい。

[等差数列のN番目の数の求め方]

初めの数 + 差 × (N - 1)

第2節 等差数列の和

例 1

$1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6 + 7 + 8 + 9$
を求めなさい。

例 2

$1 + 2 + 3 + \dots + 99 + 100$

[偶数の和] を求める工夫

例 2-1

$2 + 4 + 6 + \dots + 98 + 100$
を工夫して求めなさい。

[奇数の和] を求める工夫

例 2-2

$1 + 3 + 5 + \dots + 97 + 99$
を工夫して求めなさい。

[3の倍数の和] を求める工夫

例 2-3

$3 + 6 + 9 + \dots + 96 + 99$
を工夫して求めなさい。

[5の倍数の和] を求める工夫

例 2-4

$5 + 10 + 15 + \dots + 95 + 100$
を工夫して求めなさい。

4-4 ②

第3節 その他の数列

今まで、
 [隣りどうしの数の差] が常に等しい
 [等差数列] を学んできました。

次に、
 [差] が、
 [規則的に増えていく] [数列] を
 少し調べてみましょう。

例3-1

$42 + 44 + 46 + \dots + 98 + 100$
 を工夫して求めなさい。

類題3-1

$33 + 36 + 39 + \dots + 96 + 99$
 を工夫して求めなさい。

例4-1

$61 + 63 + 65 + \dots + 95 + 97$
 を工夫して求めなさい。

類題4-1

$29 + 36 + 43 + \dots + 92 + 99$
 を工夫して求めなさい。

類題4-2

$44 + 53 + 62 + \dots + 89 + 98$
 を工夫して求めなさい。

例1

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1	2	4	7	11	16	22		

例2

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
6	7	9	12	16	21	27		

例3

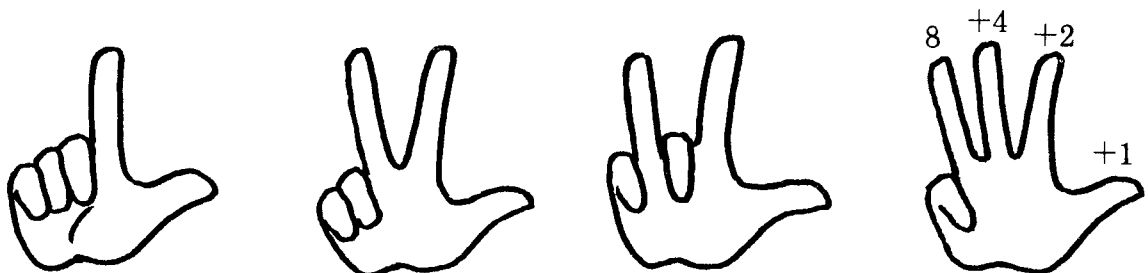
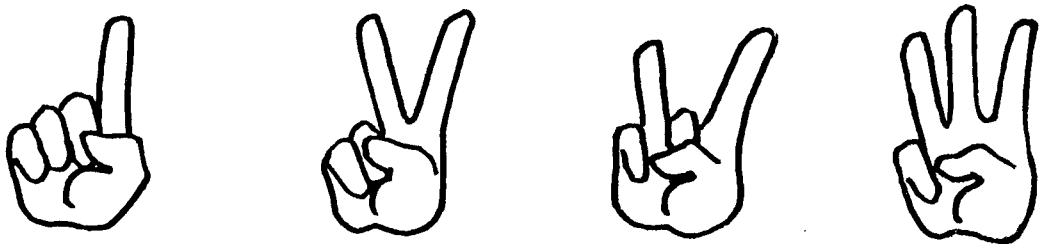
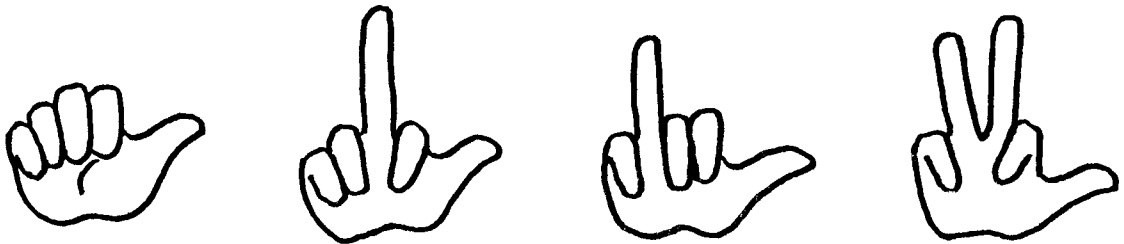
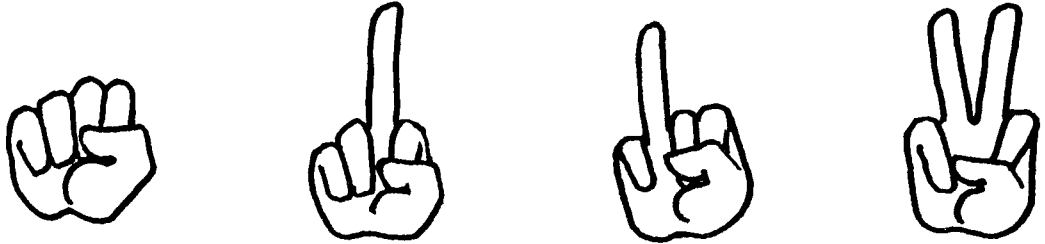
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1	4	9	16	25	36	49		

4-5 ①

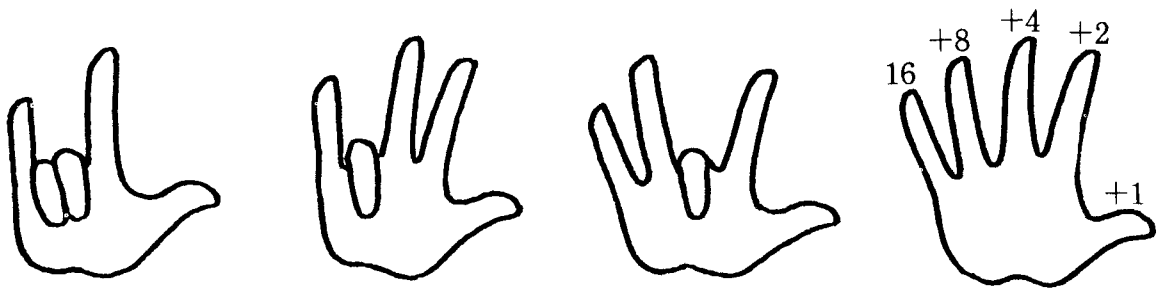
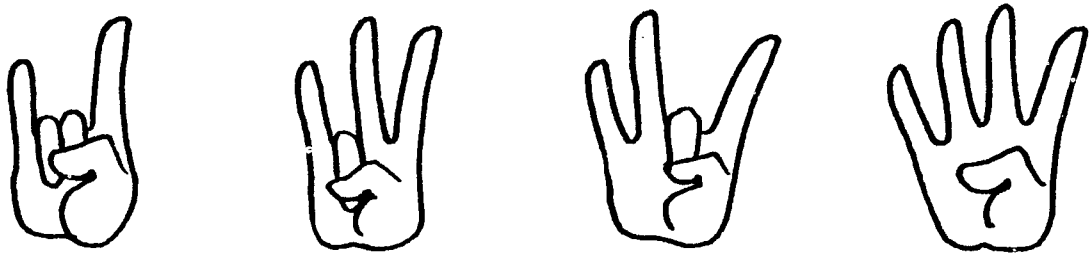
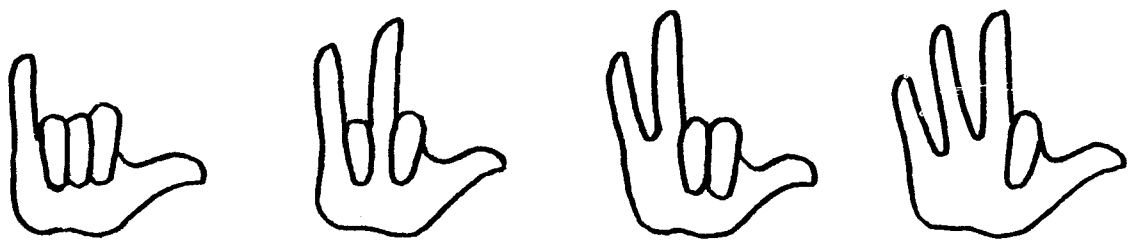
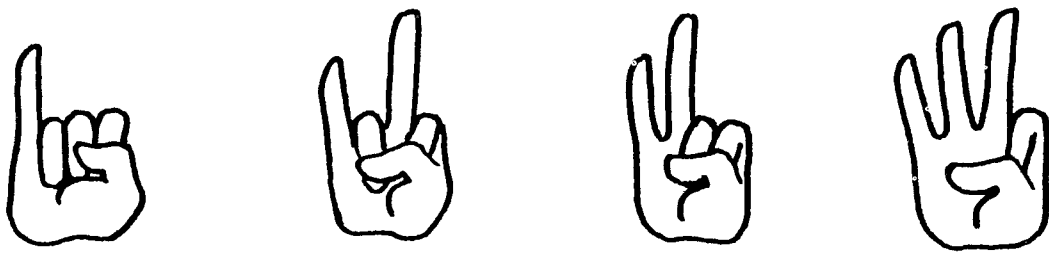
第5章 N 進法

第1節 [二進法] と [十進法]

指で、15までを表せるようにしなさい。



4-5 ②

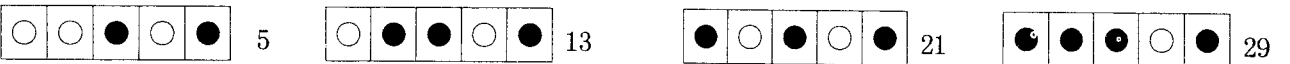
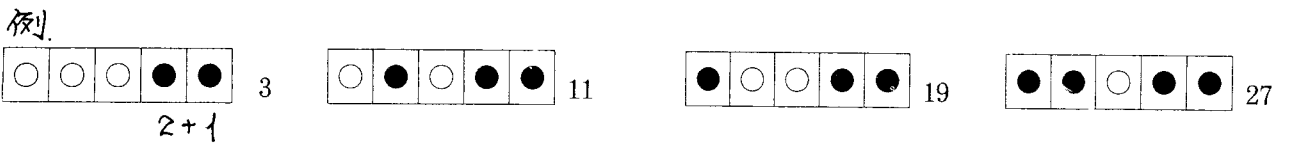


指5本で、
[31] までの数を表わすことができます。

4-5 ③

二進法

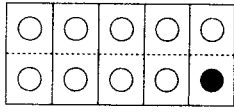
例にならって 求める式を書きなさい。



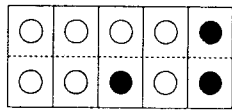
4-5④

第2節 [三進法] と [十進法]

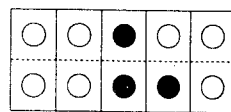
求める式を示しなさい。



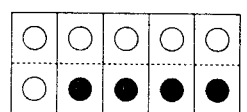
1



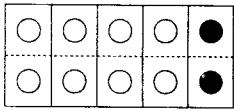
11



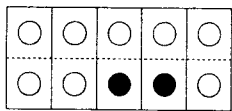
21



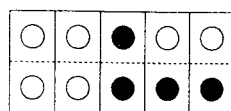
40



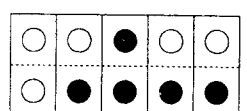
2



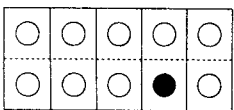
12



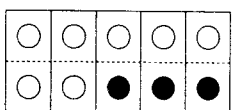
22



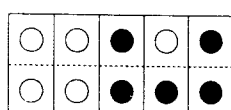
49



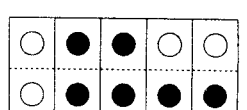
3



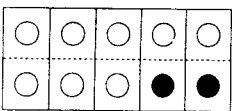
13



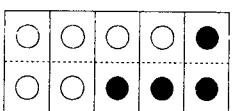
23



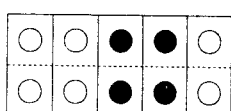
76



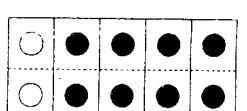
4



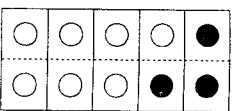
14



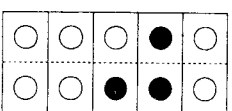
24



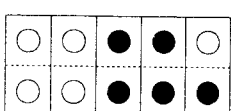
80



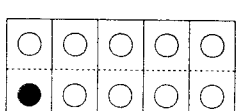
5



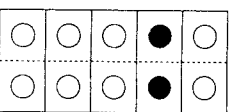
15



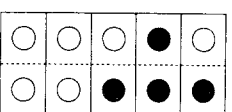
25



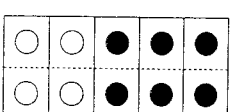
81



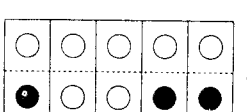
6



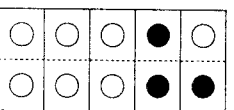
16



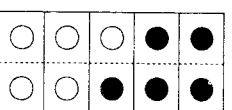
26



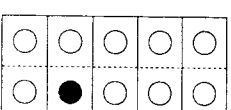
85



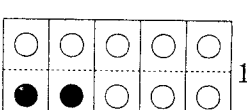
7



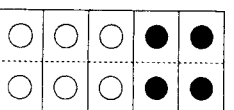
17



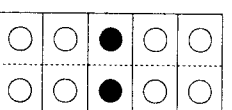
27



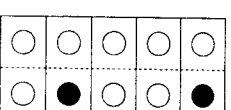
108



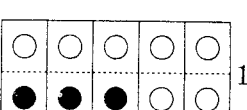
8



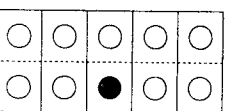
18



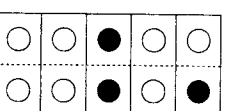
28



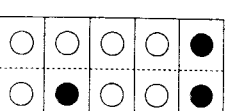
117



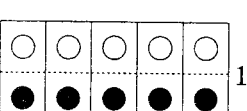
9



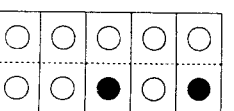
19



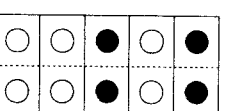
29



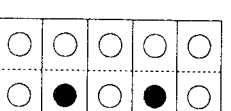
121



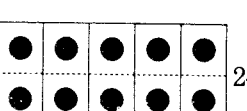
10



20



30



242

4-5 ⑤

第5節 じっしんすう エヌしんすう 十進数をN進数で表わす

よく見比べて、
法則を発見しよう。

十二進法の表わし方

10 進 数	12 進 数	10 進 数	12 進 数	10 進 数	12 進 数
1	1	13	11	25	21
2	2	14	12	26	22
3	3	15	13	27	23
4	4	16	14	28	24
5	5	17	15	29	25
6	6	18	16	30	26
7	7	19	17	31	27
8	8	20	18	32	28
9	9	21	19	33	29
10	T	22	1T	34	2T
11	J	23	1J	35	2J
12	10	24	20	36	30
37	31	49	41	61	51
38	32	50	42	62	52
39	33	51	43	63	53
40	34	52	44	64	54
41	35	53	45	65	55
42	36	54	46	66	56
43	37	55	47	67	57
44	38	56	48	68	58
45	39	57	49	69	59
46	3T	58	4T	70	5T
47	3J	59	4J	71	5J
48	40	60	50	72	60

この表わし方だと、
[十進数] の [23] と、
[十二進数] の [23] との
区別がつかえませんから、

[十進数] の [23] を $[23_{(10)}]$ 、
[十二進数] の [23] を $[23_{(12)}]$ と
表わすことができます。

$$[23_{(12)}] = [27_{(10)}]$$

十六進法の表わし方

10 進 数	16 進 数	10 進 数	16 進 数	10 進 数	16 進 数
1	1	17	11	33	21
2	2	18	12	34	22
3	3	19	13	35	23
4	4	20	14	36	24
5	5	21	15	37	25
6	6	22	16	38	26
7	7	23	17	39	27
8	8	24	18	40	28
9	9	25	19	41	29
10	A	26	1A	42	2A
11	B	27	1B	43	2B
12	C	28	1C	44	2C
13	D	29	1D	45	2D
14	E	30	1E	46	2E
15	F	31	1F	47	2F
16	10	32	20	48	30
49	31	65	41	81	51
50	32	66	42	82	52
51	33	67	43	83	53
52	34	68	44	84	54
53	35	69	45	85	55
54	36	70	46	86	56
55	37	71	47	87	57
56	38	72	48	88	58
57	39	73	49	89	59
58	3A	74	4A	90	5A
59	3B	75	4B	91	5B
60	3C	76	4C	92	5C
61	3D	77	4D	93	5D
62	3E	78	4E	94	5E
63	3F	79	4F	95	5F
64	40	80	50	96	60

[十進数] の [23] を $[23_{(10)}]$ 、
[十六進数] の [23] を $[23_{(16)}]$ と
表わすことができます。

$$[23_{(16)}] = [35_{(10)}] \text{ です。}$$

[算数問題の読み方]

【1】 ゆっくり読む

書かれている内容を思い浮かべながら
ゆっくり読む。

【2】 印しるしをつけながら読む

問題文中にある大切な要素に
丸印まるしるしなどつけながら読むのは
非常に有効な方法です。

【3】 書き出しながら読む

問題文の内容を、
完全でなくとも
図や式や表に表わしながら読むのは、
実に良い読み方です。

【4】 くりかえし読む

1回か2回読んだだけで
[分からない]などと決して言わぬこと。
せめて10回ぐらいは
ていねいに考えながら読んでから
[分からない]ということにしましょう。

★ 書き写しながら読む

解説などがわかりづらいときは、
書き写しながら考えると
よくわかってくるものです。